

2 主な整備箇所(地域版)

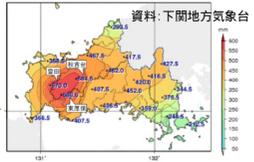
5 宇部・小野田地域のみちづくりに関する現状と課題

求められる主な取組

- 産業団地等や広域交通拠点へのアクセス強化による**物流等の迅速化・円滑化**
- 観光地と広域交通拠点(山口宇部空港等)間の移動時間の短縮による**観光客の利便性の向上**
- バイパス整備等による**渋滞対策の推進**
- 交差点改良等による**交通安全対策の推進**
- 緊急輸送道路等の**橋梁の耐震補強**
- 橋梁をはじめとした**道路施設の計画的・効率的な修繕・更新等**

県内共通 災害等による通行止め

平成22年7月10日から15日までの総雨量は、美祿市東厚保で588.0ミリ、美祿市秋吉台で584.5ミリを記録するなど、7月の平常の月降水量の1.5倍を超える大雨となり、JR美祿線の鉄道橋りょうが流失したほか、国道316号や県道下関美祿線が寸断しました。こうした災害は市民生活に大きな影響を与えることから、災害に強い道路の整備が求められています。



県内共通 交通事故の減少・歩行者の安全性向上

県政世論調査によると、今後の道路整備を進めるにあたっては、「交通事故の減少・歩行者の安全性向上」が必要であるという声が多く寄せられています。

【交通事故の減少・歩行者の安全性向上を求める意見】



交通事故減少と安全性向上を求める声が一番多い地域



観光交流人口の拡大

宇部市では、平成27年3月に、ときわ公園内の動物園がリニューアルオープンし、また、日本最大級のカルスト台地「秋吉台」や大鍾乳洞「秋芳洞」がある美祿市では、平成27年9月に「日本ジオパーク」に認定されています。当該地域の観光客数は年々増加しており、さらなる利便性の向上が期待されます。

常盤公園

ときわ公園は常盤湖を中心に広がる緑と花と彫刻に彩られた総合公園で、県初の「登録記念物(名勝地関係)」に登録。さらに、平成28年に常盤湖が「世界かんがい施設遺産」に登録されています。



秋吉台

秋吉台は山口県美祿市中・東部に広がる日本最大のカルスト台地です。毎年2月下旬に行われる山焼きは壮観で、春を呼ぶ年中行事となっています。



秋芳洞

秋吉台の地下には、約450近くもの多くの鍾乳洞があり、中でも日本最大規模を誇るのが秋芳洞です。



市街地の慢性的な渋滞

当該地域の市街地では、朝夕の通勤・通学時間帯や週末になると、慢性的な渋滞が発生し、住民生活に多大な影響を与えており、市街地における渋滞の解消が課題です。



県内共通 道路施設の老朽化

道路施設の老朽化は、利用者の安全性の確保に支障となるだけでなく、ネットワークの寸断等により社会経済活動の停滞をもたらす恐れがあります。このため、拠点間連携に寄与する美祿大橋や四郎ヶ原トンネルなどの適切な対策が必要です。



県内共通 大規模地震時の耐震性

大規模地震時の緊急輸送路を確保するためには、緊急輸送道路上の橋梁や離島架橋等の耐震補強を推進する必要があります。



物流の迅速化・円滑化

宇部港・小野田港は、古くから石炭、セメント、石灰石等の取扱いを主とする工業港として発展し、瀬戸内海工業地帯の一翼を担う工業港として地域経済の発展に重要な役割を果たしてきました。宇部港地区・小野田港地区の物流等、東西の流動が多く発生しており、こうした物流の一層の迅速化・円滑化が期待されています。



宇部港

2 主な整備箇所(地域版)

5 宇部・小野田地域のみちづくり

整備が求められる主な路線

産業・地域を「支える」

- 物流等の迅速化・円滑化
- 観光客の利便性の向上
- 交流・連携の強化

5-a	山口宇部小野田連絡道路 (宇部市新町～西中町間含む)
5-b	県道宇部船木線

等

人々のいのちを「守る」

- 生活道路等における交通安全対策の推進

5-c	県道西岐波吉見線
5-d	県道美東秋芳西寺線

等

災害に「備える」

- 広域道路ネットワークの構築や安心・安全な生活道路の整備
- 防災・減災対策の推進
- 橋梁の耐震補強

県道船木津布田線
県道下関美祿線

等

未来に「つなぐ」

- 老朽化した道路施設の計画的な修繕・更新等
- 日常的な維持管理の充実・効率化
- 異常気象時等の対応

国道435号
県道下関美祿線

等

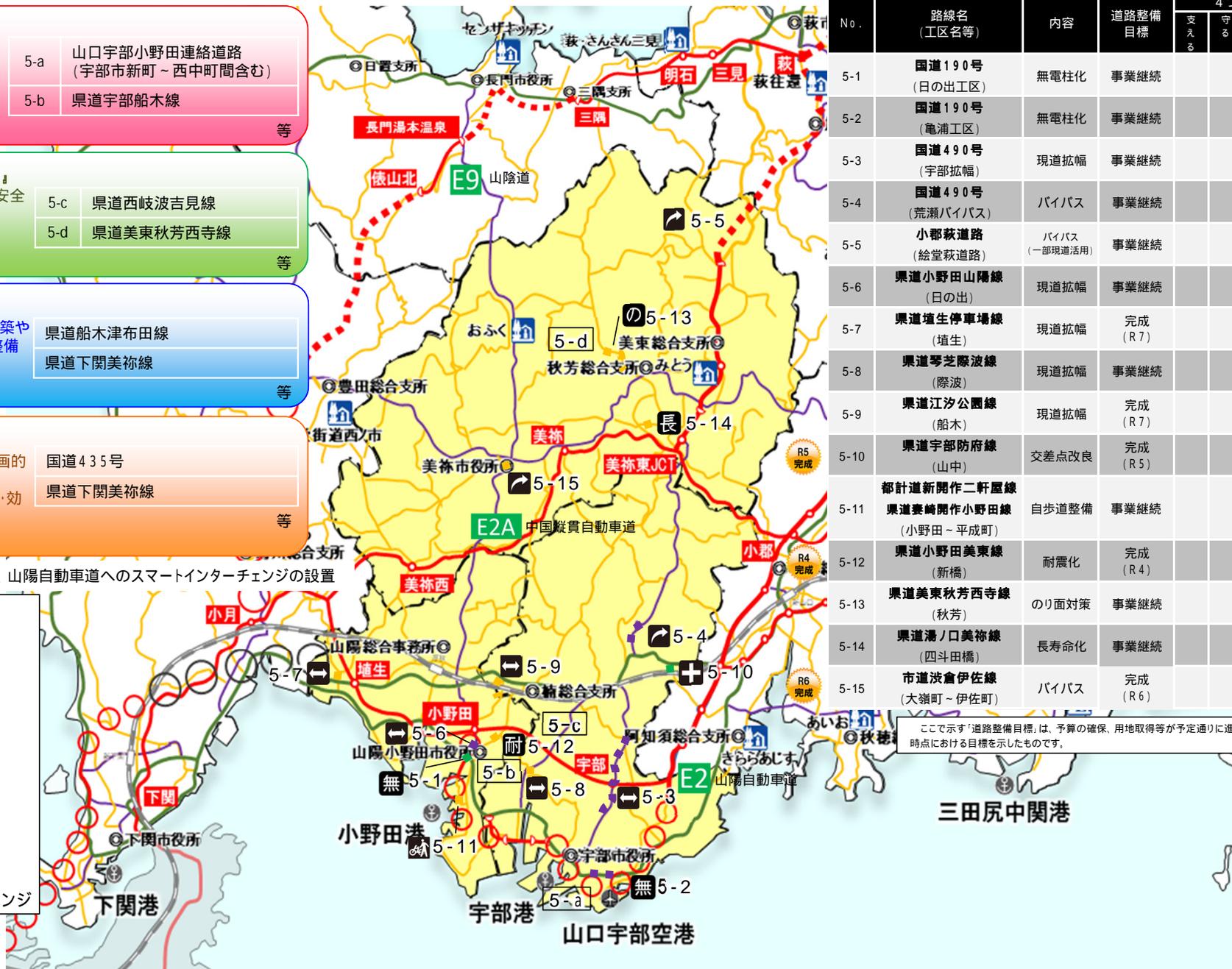
その他、中国縦貫自動車道、山陽自動車道へのスマートインターチェンジの設置

	バイパス
	現道拡幅
	自歩道整備
	歩道整備
	交差点改良
	のり面対策
	耐震化
	無電柱化
	長寿命化
	スマートインターチェンジ
	道の駅
	市役所等

主な整備中箇所

No.	路線名 (工区名等)	内容	道路整備 目標	4つの方針			
				支える	守る	備える	つなぐ
5-1	国道190号 (日の出工区)	無電柱化	事業継続				
5-2	国道190号 (亀浦工区)	無電柱化	事業継続				
5-3	国道490号 (宇部拡幅)	現道拡幅	事業継続				
5-4	国道490号 (荒瀬バイパス)	バイパス	事業継続				
5-5	小郡萩道路 (絵堂萩道路)	バイパス (一部現道活用)	事業継続				
5-6	県道小野田山陽線 (日の出)	現道拡幅	事業継続				
5-7	県道埴生停車場線 (埴生)	現道拡幅	完成 (R7)				
5-8	県道琴芝際波線 (際波)	現道拡幅	事業継続				
5-9	県道江汐公園線 (船木)	現道拡幅	完成 (R7)				
5-10	県道宇部防府線 (山中)	交差点改良	完成 (R5)				
5-11	都計道新開作二軒屋線 県道妻崎開作小野田線 (小野田～平成町)	自歩道整備	事業継続				
5-12	県道小野田美東線 (新橋)	耐震化	完成 (R4)				
5-13	県道美東秋芳西寺線 (秋芳)	のり面対策	事業継続				
5-14	県道湯ノ口美祿線 (四斗田橋)	長寿命化	事業継続				
5-15	市道波倉伊佐線 (大瀬町～伊佐町)	バイパス	完成 (R6)				

ここで示す「道路整備目標」は、予算の確保、用地取得等が予定通りに進捗した場合の現時点における目標を示したものです。



2 主な整備箇所(地域版)

5 宇部・小野田地域の主な整備中箇所

5-1 190 国道190号(日の出工区)

支える	守る	備える	つなく

概要

内容	無電柱化
整備延長	L = 1.4 km
幅員	W = 24.0 m
着手年度	平成30年度

【標準断面図】

総事業費約11億円



目的(効果)

- ◆ 安全で快適な通行空間を確保します。
- ◆ 震災時における緊急輸送道路の確保を図ります。
- ◆ 良好な都市景観を形成します。



5-3 490 国道490号(宇部拡幅)

支える	守る	備える	つなく

概要

内容	現道拡幅
延長	L = 6.0 km
幅員	W = 25.0 m
着手年度	平成5年度

【標準断面図】

総事業費約198億円



目的(効果)

- ◆ 宇部市街地における慢性的な渋滞を緩和します。
- ◆ 山陽自動車道宇部ICへのアクセス性を向上します。
- ◆ 緊急輸送道路として災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。



部分完成区間

5-2 190 国道190号(亀浦工区)

支える	守る	備える	つなく

概要

内容	無電柱化
整備延長	L = 2.8 km
幅員	W = 24.0 m
着手年度	令和元年度

【標準断面図】

総事業費約3.5億円



目的(効果)

- ◆ 安全で快適な通行空間を確保します。
- ◆ 震災時における緊急輸送道路の確保を図ります。
- ◆ 良好な都市景観を形成します。



5-4 490 国道490号(荒瀬バイパス)

支える	守る	備える	つなく

概要

内容	バイパス
延長	L = 2.8 km
幅員	W = 11.0 m
着手年度	平成6年度

【標準断面図】

総事業費約3.6億円



目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 歩行者の通行の安全を確保します。
- ◆ 緊急輸送道路として災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。



部分完成区間

2 主な整備箇所(地域版)

5 宇部・小野田地域の主な整備中箇所

5-5 490 小郡萩道路(絵堂萩道路)

支える	守る	備える	つなぐ

概要

内容	バイパス(一部現道活用)
延長	L = 15.0km
幅員	W = 13.5m
着手年度	平成26年度



目的(効果)

- ◆ 空港や新幹線駅等の広域交通拠点へのアクセス性を向上します。
- ◆ 萩・美祢地域における広域観光ルートを整備し、観光振興を図ります。
- ◆ バイパス区間を自動車専用道路として整備し、災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。

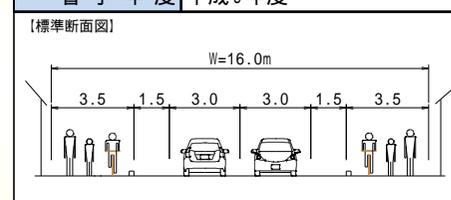


5-7 229 県道埴生停車場線(埴生)

支える	守る	備える	つなぐ

概要

内容	現道拡幅
延長	L = 0.2km
幅員	W = 16.0m
着手年度	平成8年度



目的(効果)

- ◆ 国道2号厚狭・埴生バイパスやJR山陽本線埴生駅へのアクセス性を向上します。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。

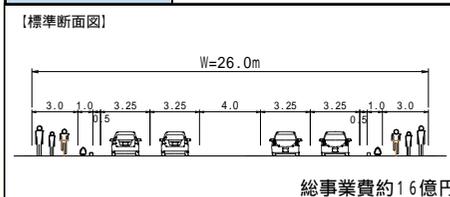


5-6 71 県道小野田山陽線(日の出)

支える	守る	備える	つなぐ

概要

内容	現道拡幅
延長	L = 1.1km
幅員	W = 26.0m
着手年度	平成13年度



目的(効果)

- ◆ 山陽小野田市街地における渋滞を緩和します。
- ◆ 山陽自動車道小野田ICや国道2号厚狭・埴生バイパスへのアクセス性を向上します。
- ◆ 大規模商業施設等へのアクセス性を向上します。

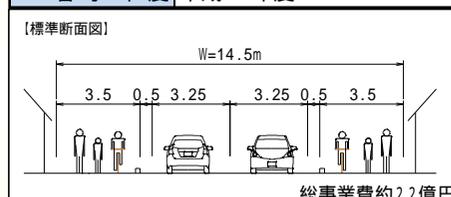


5-8 342 県道琴芝際波線(際波)

支える	守る	備える	つなぐ

概要

内容	現道拡幅
延長	L = 0.87km
幅員	W = 14.5m
着手年度	平成18年度



目的(効果)

- ◆ 道路幅員が狭く車両のすれ違いが困難な箇所を解消します。
- ◆ 狭い踏切を広くします。
- ◆ 歩道を整備することにより、歩行者等の安心・安全な交通環境を確保します。



2 主な整備箇所(地域版)

5 宇部・小野田地域の主な整備中箇所

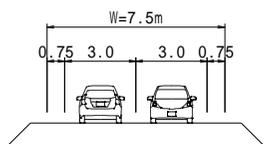
5-9 349 県道江汐公園線(船木)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内容	現道拡幅
延長	L = 1.0 km
幅員	W = 7.5 m
着手年度	平成20年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 道路幅員が狭く大型車とのすれ違いが困難な箇所を解消します。
- ◆ 小野田・楠企業団地や江汐公園へのアクセス性を向上します。



5-11 都計道新開作二軒屋線(小野田～平成町)

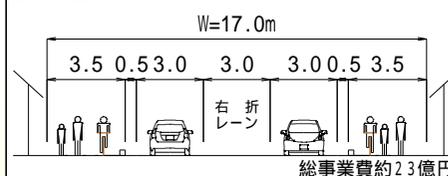
支える 守る 備える つなぐ

354 県道妻崎開作小野田線

概要

内容	自歩道整備
延長	L = 0.6 km
幅員	W = 17.0 m
着手年度	平成26年度

【標準断面図】



総事業費約2.3億円



目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車利用者の通行の安全を確保します。
- ◆ 右折車線を設置するなどの交差点を改良します。



5-10 25 県道宇部防府線(山中)

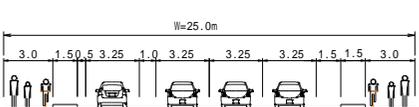
支える 守る 備える つなぐ

概要

内容	交差点改良
延長	L = 0.36 km
幅員	W = 25.0 m
着手年度	平成29年度

R5 完成

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 国道2号周辺の渋滞を緩和します。
- ◆ 山口テクノパーク及び宇部テクノパークへのアクセス性を向上します。



5-12 30 県道小野田美東線(新橋)

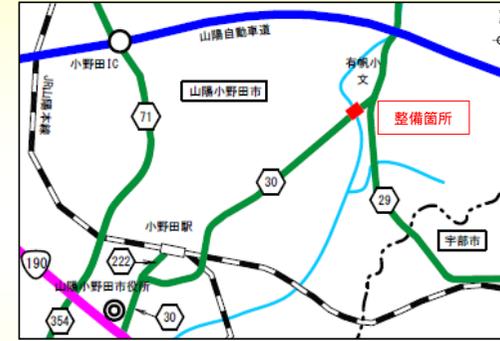
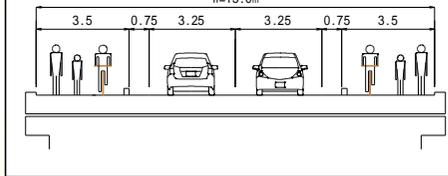
支える 守る 備える つなぐ

概要

内容	耐震化
延長	L = 0.05 km
幅員	W = 15.0 m
着手年度	平成23年度

R4 完成

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 大地震時に落橋に至るような致命的な被害を防止するだけでなく、被災後、橋梁としての機能を速やかに回復できる性能を確保します。



2 主な整備箇所(地域版)

5 宇部・小野田地域の主な整備中箇所

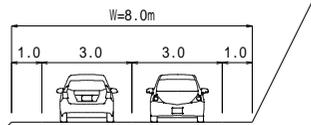
5-13 31 県道美東秋芳西寺線(秋芳)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内容	のり面対策
延長	L = 1.4 km
幅員	W = 8.0 m
着手年度	平成6年度

〔標準断面図〕



総事業費約10億円



目的(効果)

- ◆ 道路利用者の安全な通行や災害時の円滑な緊急輸送を確保します。



5-15 市道渋谷伊佐線(大嶺町～伊佐町)

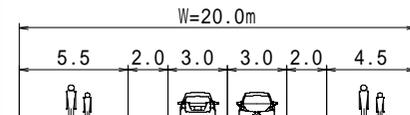
支える 守る 備える つなぐ

概要

内容	バイパス
延長	L = 2.0 km
幅員	W = 20.0 m
着手年度	平成16年度

R6
完成

〔標準断面図〕



総事業費約20億円



目的(効果)

- ◆ 災害時の円滑な緊急輸送を確保します。
- ◆ 美祿市中心部の交通の円滑化を図ります。



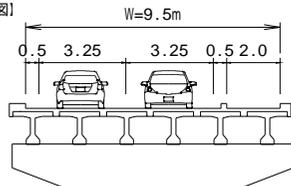
5-14 240 県道湯ノ口美祿線(四斗田橋)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内容	長寿命化
延長	L = 0.08 km
幅員	W = 9.5 m
着手年度	平成30年度

〔標準断面図〕



目的(効果)

- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。

